



2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月13日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
コード番号 3418 URL <https://www.balnibarbi.com>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤 裕久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 宮下 大輔 TEL 06-4390-6544
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第3四半期の連結業績（2023年8月1日～2024年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	9,887	△0.8	516	△46.9	521	△45.5	491	△23.3
2023年7月期第3四半期	9,968	42.3	973	—	956	18.7	640	23.5

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 493百万円 (△23.2%) 2023年7月期第3四半期 642百万円 (23.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	55.49	—
2023年7月期第3四半期	72.35	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期第3四半期	9,669	3,381	33.7	367.71
2023年7月期	8,826	2,976	32.3	322.22

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 3,256百万円 2023年7月期 2,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	2.50	—	7.50	10.00
2024年7月期	—	2.50	—	—	—
2024年7月期（予想）	—	—	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,018	△2.6	753	△35.1	742	△32.4	513	△23.8	57.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）株式会社アスリート食堂

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	9,023,880株	2023年7月期	9,023,880株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	167,405株	2023年7月期	167,405株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	8,856,475株	2023年7月期3Q	8,856,475株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復やインバウンド需要の増加を背景に経済活動が活性化し、景気が緩やかな回復基調が続く動きがみられた一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、円安等に起因して物価が上昇する等、先行きは依然として不透明な状況であります。外食業界におきましては、需要回復の兆しがみられるものの、物価上昇や働き手の不足などにより厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、従来の「レストラン事業」におけるバッドロケーション戦略での出店で培ったノウハウや知見をもとに、食をベースに総合的なエリア開発を行うことで活性化した不動産の流動化により新たな収益を見込む「エステートビルドアップ事業」を2つ目の成長戦略の柱とし、「食から始まる日本創再生」に取り組んでおります。

レストラン事業においては、ニューノーマルのライフスタイルにおける新しい外食時間として、時間の概念にとらわれず楽しんで頂けるメニューの提案や空間づくりに取り組むと共に、顧客体験の向上と収益の最大化を目指し、既存店の再構築を進めております。2023年8月に再編した店舗運営子会社を中心に、その店舗のマーケットや環境に適したきめ細やかなサービス内容の拡充や価格帯の見直し、業態変更等を含む総合的なアプローチなどにより、お客様の潜在的なニーズに応えることで付加価値を高め、市場競争力の一層の強化を図るべく、グループ丸となって取り組みを行っております。また定期的なメニューの見直しやサービスの改善を行うことで、お客様により満足度の高い体験を提供することを目指すことにより、多くのお客様に喜んでいただける環境を整備し、成長戦略の一環として、今後のレストラン事業拡大を見据えています。また行政・自治体からの出店要請は引き続き強いニーズがあると考えられ、出店エリアを厳選したうえで新規出店に伴う運営体制の構築に取り組んでおります。

エステートビルドアップ事業においては淡路島北西海岸を舞台に展開する食を通じた地方創生プロジェクト「Frogs FARM ATMOSPHERE」におきまして、飲食店、宿泊施設の展開等、現在20施設を展開しており、地域の皆さまや賛同者との協業を推進しております。また廃校をリノベーションし雇用の創出、定住人口・交流人口の増加、地元交流を目的にした「SAKIA」につきましては、地域資源を活用した官民連携サテライトオフィス拠点整備事業に参画し、企業や起業家のワーケーション、サテライトオフィス利用や淡路島でのビジネスやお試し移住体験に向けた中長期滞在先など、多様なニーズに応える施設として新たにワーキングスペース機能や宿泊機能等を整備し、4月25日に開設いたしました。島根県出雲市西海岸における観光、二拠点ライフ、移住を見据えた地方創生プロジェクト「WINDY FARM ATMOSPHERE」につきましては、レストラン、宿泊施設の運営を強化すると共に、パーキングエリアを活用したアウトドアスタイルのウェディングプランの構築など様々な施策に取り組んでおります。現在、開発エリアを拡大するための準備を実施しておりますが、より多様な施設やサービスを提供できるよう、自治体や地域企業と連携しながら地方創生の取り組みを推進いたします。

また株主の皆様に適正な利益還元を行うこと及び当社サービスをご利用いただきより理解を深めていただくことを目的として、株主優待制度の拡充及び電子化を2023年7月末基準日より導入いたしました。株主優待制度の電子化につきましては株主様の利便性の向上を図るとともに、当社の事務効率化やコストの抑制につながり、株主様への更なる還元が可能となると考えております。

当第3四半期連結累計期間における当社及び連結子会社の店舗の増減といたしましては、レストラン事業のバッドロケーションデベロッパーにおいて3店舗をクローズ、不動産デベロッパーにおいて2店舗をオープン、1店舗をクローズ、大学・その他において期間限定店舗2店舗をオープン、1店舗をクローズ、期間限定店舗を1店舗クローズし、当第3四半期連結会計期間末における当社グループの運営する店舗数は94店舗となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は9,887,579千円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は516,901千円（前年同四半期比46.9%減）、経常利益521,456千円（前年同四半期比45.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益491,479千円（前年同四半期比23.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

① レストラン事業

店舗運営におきましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かい店舗運営に取り組み、ビアガーデンやバーベキュー、こたつテラス等季節に応じた店舗運営、営業企画やイベントの立案、コロナ禍におけるソーシャルディスタンスを保った安心安全なテラスの活用や、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,820,167千円（前年同四半期比11.9%増）となり、セグメント利益は317,144千円（前年同四半期はセグメント損失119,645千円）となりました。

(a) バッドロケーション

バッドロケーション戦略におきましては、大型・複合型物件の開発を進める一方で、行政や大手デベロッパーとの連携により様々なソーシャルプロジェクト等へ参画を行うことで、食をベースに複合的な店舗開発を推進しております。また引き続きバッドロケーション戦略の店舗の運営安定化を目的に不動産定期借家契約による退店リスクのある物件につきましては土地、建物、借地権取得等不動産保有を推進し、店舗運営の安定化による収益性確保、不動産価値向上による財務体質の改善に努めております。2023年12月には東京都台東区の複合商業施設「ミラー」の譲渡に伴い、同ビル内にて運営しておりました「シエロイリオ」、「リバヨン」、「プリバード」をクローズしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるバッドロケーション戦略の店舗数は、関東地区17店舗、関西地区7店舗、その他地域2店舗の計26店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,624,899千円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

(b) 不動産デベロッパー

不動産デベロッパー戦略におきましては、好立地、特別な店舗家賃での誘致や初期投資の軽減等好条件での物件獲得を行うことができ、売上規模、収益性、話題性の高い物件を選定することで当社グループの個性を活かした店舗開発を推進しております。2023年8月には大阪市北区のグランフロント北館6階ウメキタフロアにおいて「ノーストランク」をオープン、業務委託契約満了に伴い1店舗をクローズ、2024年4月には奈良県東大寺門前の夢風ひろばにおいて「ナラッドパークサイド」をオープンしております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における不動産デベロッパー戦略の店舗数は、関東地区18店舗、関西地区14店舗、その他地域2店舗の計34店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,993,880千円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

(c) 行政・公共機関

行政・公共機関戦略におきましては、新たな地方自治体との取り組みにおいて、その街ならではのオリジナルな業態の開発、地域活性化イベントの開催等を行い、地方創再生ネットワークの形成を推進しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における行政・公共機関戦略の店舗数は、関西地区11店舗、その他地域1店舗の計12店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,554,165千円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

(d) 大学・その他

大学・その他戦略におきましては、学生のみならず近隣住民へのターゲット層の拡大及びコストコントロールによる収益性改善を進めております。また、顧客の消費動向の変化により拡大した中食需要の取り込みを目的とした通販サイト「CANDLE TABLE」の展開等、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを行っております。2023年12月には冬季期間限定店舗として新潟県魚沼郡のかぐらスキー場に「ぶなキッチン」「スープステーション田代」をオープン、長野県北安曇郡のつがいけマウンテンリゾートに「瀬戸内淡路島 中華そばいのうえ」をオープンし2024年4月にクローズ、2024年1月には契約満了に伴い「ムー ガーデンテラス」をクローズしております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における大学・その他の店舗数は、関東地区1店舗、関西地区3店舗、その他地域1店舗の計5店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高276,905千円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

(e) その他の事業

その他の事業は、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は179,351千円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

② エステートビルドアップ事業

当社グループでは、食をベースとした地方創再生プロジェクトとして兵庫県淡路島北西海岸「Frogs FARM ATMOSPHERE」を筆頭に、島根県出雲市西海岸「WINDY FARM ATMOSPHERE」に取り組むことで、地方創生ネットワークの形成を推進しております。兵庫県淡路市におきましては、2024年3月に「KAMOME SLOW HOTEL Doggy」をオープン、2024年4月には「KAMOME SLOW HOTEL BEACHD」、「Frogs FARM DOG RUN」をオープンし、地域資源

を活用したデジタル田園都市国家構想交付金「地方創生テレワーク型」事業を淡路市と連携・活用し、新たにサテライトオフィス拠点「SAKIA STAY」をオープンしております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるエステートビルドアップ事業の店舗数は関西地区12店舗、その他地域5店舗の計17店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,258,376千円（前年同四半期比42.5%減）となり、セグメント利益は199,756千円（前年同四半期比81.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

現金及び預金の増加250,118千円、販売用不動産の増加269,355千円、未収還付法人税等の減少139,950千円、建物及び構築物の増加138,751千円、工具、器具及び備品の増加74,765千円、建設仮勘定の増加150,230千円及び繰延税金資産の増加42,250千円等により、総資産は前連結会計年度末に比べ843,404千円増加し9,669,586千円となりました。

(負債)

短期借入金の増加1,166,484千円、未払法人税等の減少229,732千円及び長期借入金の減少377,079千円等により、負債は前連結会計年度末に比べ438,818千円増加し6,288,189千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、404,585千円増加し、3,381,397千円となりました。これは主に利益剰余金の増加402,914千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年9月14日の「2023年7月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,585,482	1,835,600
売掛金	619,604	628,732
商品及び製品	166,025	174,584
原材料及び貯蔵品	33,080	34,569
販売用不動産	2,002,753	2,272,109
未収還付法人税等	194,510	54,560
未収消費税等	4,735	4,436
その他	238,917	252,878
流動資産合計	4,845,109	5,257,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,104,227	1,242,978
機械装置及び運搬具(純額)	35,942	68,313
工具、器具及び備品(純額)	486,885	561,651
土地	488,058	488,332
リース資産(純額)	25,357	12,139
建設仮勘定	61,631	211,862
有形固定資産合計	2,202,103	2,585,278
無形固定資産		
借地権	329,558	316,707
その他	14,587	19,907
無形固定資産合計	344,146	336,614
投資その他の資産		
投資有価証券	173,450	172,380
差入保証金	676,206	683,672
繰延税金資産	551,447	593,697
その他	33,719	40,472
投資その他の資産合計	1,434,822	1,490,223
固定資産合計	3,981,072	4,412,116
資産合計	8,826,181	9,669,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,337	333,868
短期借入金	—	1,166,484
1年内返済予定の長期借入金	929,653	866,570
リース債務	37,231	19,626
未払金	627,602	621,625
未払法人税等	249,525	19,792
未払消費税等	193,006	154,469
賞与引当金	4,370	20,256
資産除去債務	13,531	—
その他	180,393	167,912
流動負債合計	2,566,651	3,370,606
固定負債		
長期借入金	2,505,613	2,128,533
リース債務	16,524	4,026
資産除去債務	658,932	684,697
繰延税金負債	1,583	—
その他	100,063	100,325
固定負債合計	3,282,718	2,917,582
負債合計	5,849,370	6,288,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,825	466,825
資本剰余金	815,088	815,088
利益剰余金	1,744,420	2,147,335
自己株式	△172,596	△172,596
株主資本合計	2,853,737	3,256,652
非支配株主持分	123,073	124,745
純資産合計	2,976,811	3,381,397
負債純資産合計	8,826,181	9,669,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	9,968,746	9,887,579
売上原価	2,824,596	2,612,185
売上総利益	7,144,150	7,275,393
販売費及び一般管理費	6,170,830	6,758,492
営業利益	973,320	516,901
営業外収益		
受取利息	306	346
受取保険金	5,663	23,487
消費税差額	4,814	—
助成金収入	11,440	2,604
違約金収入	3,190	5,427
その他	5,101	6,480
営業外収益合計	30,517	38,346
営業外費用		
支払利息	11,193	18,414
シンジケートローン手数料	18,129	1,833
支払手数料	7,500	5,000
持分法による投資損失	—	1,069
その他	10,167	7,474
営業外費用合計	46,991	33,791
経常利益	956,846	521,456
特別利益		
固定資産売却益	4,560	—
補助金収入	—	92,040
特別利益合計	4,560	92,040
特別損失		
固定資産除却損	2,645	1,718
固定資産圧縮損	—	92,040
特別損失合計	2,645	93,758
税金等調整前四半期純利益	958,762	519,737
法人税、住民税及び事業税	210,291	70,421
法人税等調整額	106,000	△43,834
法人税等合計	316,292	26,586
四半期純利益	642,469	493,151
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,661	1,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	640,808	491,479

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	642,469	493,151
四半期包括利益	642,469	493,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640,808	491,479
非支配株主に係る四半期包括利益	1,661	1,671

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年8月1日至2023年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	3,804,089	1,393,300	5,197,389	—	5,197,389
関西	3,306,348	790,898	4,097,247	—	4,097,247
その他	574,022	5,762	579,785	—	579,785
顧客との契約から生じる収益	7,684,461	2,189,961	9,874,422	—	9,874,422
その他の収益	94,324	—	94,324	—	94,324
外部顧客への売上高	7,778,785	2,189,961	9,968,746	—	9,968,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,329	—	100,329	△100,329	—
計	7,879,115	2,189,961	10,069,076	△100,329	9,968,746
セグメント利益又は損失(△)	△119,645	1,092,966	973,320	—	973,320

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年8月1日至2024年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	4,057,439	—	4,057,439	—	4,057,439
関西	3,788,580	1,021,299	4,809,880	—	4,809,880
その他	670,823	237,076	907,899	—	907,899
顧客との契約から生じる収益	8,516,843	1,258,376	9,775,219	—	9,775,219
その他の収益	112,359	—	112,359	—	112,359
外部顧客への売上高	8,629,202	1,258,376	9,887,579	—	9,887,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高	190,964	—	190,964	△190,964	—
計	8,820,167	1,258,376	10,078,544	△190,964	9,887,579
セグメント利益	317,144	199,756	516,901	—	516,901

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。